

# 常任委員会の動き

## 辻堂市民図書館

### NPO法人による運営状況を報告

こども文教

こども文教常任委員会は、九月八日に開催され、陳情三件を審査した。その結果、陳情はすべて趣旨了承と決定した。また、①平成二十四年度使用藤沢市教科用図書②市民との協働による公民館の運営③藤沢市学習文化センターの今後④NPO法人による辻堂市民図書館の運営―以上四件について報告を受けた。

支える六百名以上のボランティアの活動がそのまま継続可能となること②従来から図書館サービスの現場で活躍していた市民スタッフの雇用の場が確保できたこと③現行の市民スタッフの引き継ぎ業務に従事することから質の高い図書館サービスを維持できること④市民・ボランティア・NPO法人が一体となって図書館サービスの拡充ができること―以上の四つである。

#### NPO法人による辻堂市民図書館の運営について

〈教育委員会の説明〉

本市の図書館は、四つの市民図書館と十一の市民図書室により運営されているが、本年四月一日より辻堂市民図書館の運営業務について、NPO法人への委託を開始し、長年にわたる市民運営の実績、市民力の土壌の上に立ち、行政と市民との協働を進めている。その特色は、①図書館を



NPO法人による運営が進められている辻堂市民図書館

の評価については、「非常に良い」、「やや良い」の合計が二五・九%、「変わらない」が三二・八%となっており、前年と同水準もしくははより良いサービスを提供していると考えている。

### 国際戦略ビジョン策定に向け検討 将来像は「世界がみつめる藤沢」

総務

総務常任委員会は、九月九日に開催され、議案二件、陳情四件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきもの、陳情はすべて趣旨不承と決定した。

また、①(仮称)藤沢市国際戦略ビジョン策定及び(仮称)藤沢市国際化協会設立準備委員会の発足とこれらに関する検討状況②藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町によるパースポルトセンター設置に向けた取組状況③「藤沢市自立型復興支援プラン」における募集及び受入状況―以上三件について報告を受けた。

#### 〇(仮称)藤沢市国際戦略ビジョン策定及び(仮称)藤沢市国際化協会設立準備委員会の発足とこれまでの検討状況について

新総合計画において、本市の国際化を目指す方向性を明確にするため、(仮称)藤沢市国際戦略ビジョンの策定を協会設立とあわせて実施計画事業として位置づ

けた。そして、世界の諸都市との都市間交流をさらに推進し、外国人市民や観光客、留学生等が安全安心に生活、滞在できるような施策等、さらなる多文化共生社会の実現を目指した国際化施策の展開が重要になると考えている。

本ビジョンについては、将来像を「世界がみつめる藤沢」とし、①新たな交流から新たな創造②お互いの国を思いやる精神に包まれた平和な世界を築く③国内外に学び国内を知る人材育成―以上三つを基本理念として、テーマについて

## 請願の処理状況

受理年月日	請願番号	件名	付託委員会	議決結果
23. 8.25	23-2	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置を継続するよう求める意見書を国に提出することについての請願	-	23. 9. 5 採 択

## 陳情の処理状況

受理年月日	陳情番号	件名	付託委員会	審査結果
23. 9. 1	23-27	「武田薬品工業(株) 湘南研究所の環境保全に関する連絡会議」の傍聴を求める陳情	厚生環境	23. 9. 7 趣旨不承
〃	23-28	食物からの放射性物質を防ぐための陳情	〃	〃
〃	23-32	食品等の放射性セシウムの放射能測定体制の改善についての陳情	〃	〃
〃	23-29	学校等給食の食材及び食品の放射能測定に万全を期すことについての陳情	こども文教	23. 9. 8 〃
〃	23-30	市が所有する食品の放射能測定器の学校給食等への利用についての陳情	〃	〃
〃	23-33	藤沢市内の学校等における放射線測定についての陳情	〃	〃
23. 8.29	23-23	市民の命と暮らしを守るエネルギーの地産地消の積極的推進と充実を求める陳情	総務	23. 9. 9 〃
23. 9. 1	23-25	市民会館再整備にあたっての陳情	〃	〃
〃	23-26	すべての原子力発電所の再稼働をしないよう政府への意見書提出を求める陳情	〃	〃
〃	23-31	放射能汚染対策の一元的体制についての陳情	〃	〃
23. 8.31	23-24	「善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査特別委員会」(百条委員会) 議事録公開についての陳情	善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査特別委員会	23. 9.12 〃

## 村岡地区のまちづくり 新駅の早期実現を目指す

建設経済

建設経済常任委員会は、九月六日に開催され、議案七件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきものと決定した。また、村岡地区のまちづくりの取組について

#### 〇村岡地区のまちづくりの取組について

村岡地区のまちづくりの取組については、「村岡地区まちづくり計画」の実現に向け、基礎的な調査、新駅へのアクセスや地元調などを進めており、本市、鎌倉市及び神奈川県で構成する湘南地区整備連絡協議会の場で、新駅の規模や駅前広場の検討を行い、平成

## 資源品目別戸別収集 平成24年4月から全市実施を目指す

厚生環境

厚生環境常任委員会は、九月七日に開催され、議案三件、陳情三件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきもの、陳情はすべて趣旨不承と決定した。

#### 〇資源品目別戸別収集全市実施について

資源品目別戸別収集については、これまで資源の出し方」の配布を行い、同年四月からの本事業の全市実施に向け、周知を図る。

る、戸式ホームでは約百九億円、相対式ホームでは約九十九億円となった。

#### 今後の予定については、

今年度中に湘南地区整備連絡協議会を中心に新駅設置に向けた期成同盟会準備会の立ち上げを目指し、来年度を目途に期成同盟会を発足させ、新駅の早期実現と広域連携によるまちづくりの新たな推進体制を構築する。